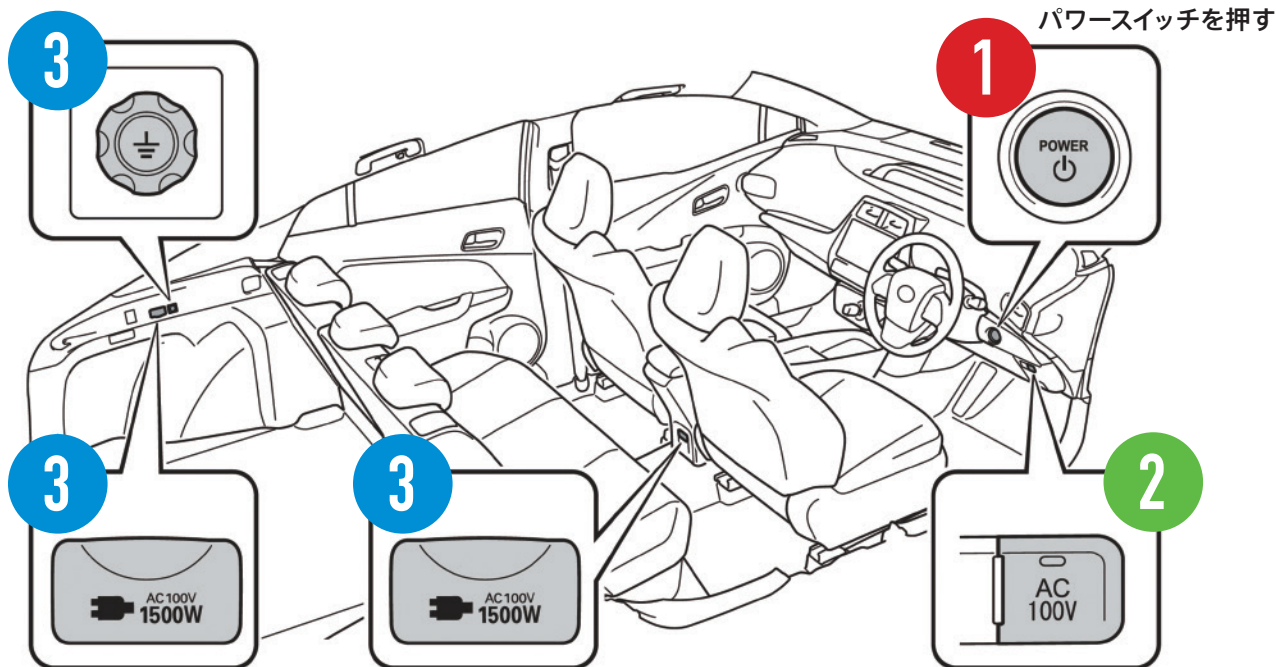


# AC100V アクセサリーコンセントの使い方

車内において、AC100Vで最大消費電力1500W以下の電気製品を使うときの電源としてご使用ください。

例 プリウスの場合

車種によって場所が異なりますが、同様のスイッチ及びコンセントが存在します。



フタを開けて電気製品の電源プラグを差し込む

**READY** インジケータが点灯したら、AC100Vスイッチを押す

1

パーキングブレーキがかかっていることを確認し、ブレーキをしっかりと踏みながらパワースイッチを押してください。

2

READYインジケータが点灯したことを確認し、AC100Vスイッチを押してください。作動表示灯が点灯し、使用可能な状態になります。

AC100Vスイッチを押すたびに、コンセントのON/OFFが切り替わります。

3

フタを開けて、電気製品の電源プラグを差し込んでください。

アース線のある電気製品を使用する時は、ラゲージルーム内のコンセントを使用し、アース線をアース端子に接続してください。

※ラゲージルーム内のコンセントがない車種もあります。

安全にお使いいただくために、ご注意いただきたい内容があります。

お守りいただかないと思われ事故の原因となり、重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。詳しくは取扱書をご覧ください。詳しくは取扱書をご覧ください。詳しくは取扱書をご覧ください。

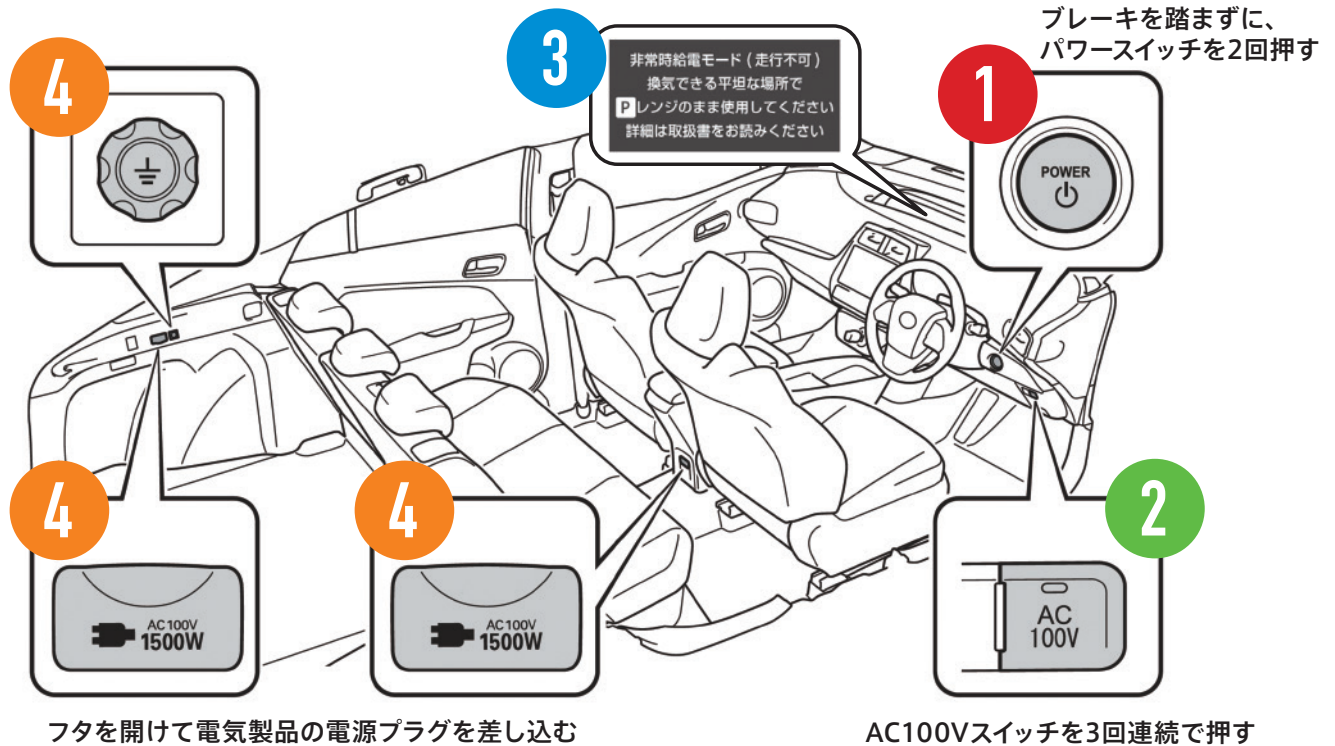
■システム作動中はエンジンが作動するおそれがあるので、車庫内等、換気の悪い場所を避け、換気の良い場所に駐車してください。 ■合計1500W以下の電気製品をご使用ください。ただし、1500W以下の電気製品でも正常に作動しない場合があります。詳しくは販売店におたずねください。製品によっては正常に作動しない場合やご注意いただきたい項目があります。ご使用になる前に必ず製品の取扱書をご覧ください。 ■一部地域では、駐車または停車中にエンジンを稼働させた場合、条例に触れるおそれがありますので十分にご注意ください。 ■電気製品には使用可能電源の周波数が50Hzか60Hzのどちらかに制限されているものがありますので、電気製品の取扱説明書を確認してください。 ■電子レンジ、蛍光灯(インバーター式除く)、水銀灯、電気時計、洗濯機、ステレオ等で周波数が異なると使用できないものがあります。特に電子レンジは電源周波数が設定と異なると発熱することがあり、注意が必要です。 ■工場出荷時はアクセサリーコンセントの周波数は60Hzに設定(プリウスの場合)されていますが、50Hzに変更可能です。変更は販売店に相談して実施ください。

# 非常時給電システムの使い方

災害などによる非常時に電力が必要なとき、次の方法を行うことで、車両の走行機能を停止した状態で給電ができます。

例 プリウスの場合

車種によって場所が異なりますが、同様のスイッチ及びコンセントが存在します。



フタを開けて電気製品の電源プラグを差し込む

AC100Vスイッチを3回連続で押す

1

**ブレーキを踏まずに、パワースイッチを2回押して、ONモードにしてください。**  
ブレーキを踏んでいると非常時給電システムは使用できません。

2

**AC100Vスイッチを3回連続で押してください。**  
間隔が1秒以上あかないように、連続して押してください。

3

**ディスプレイに非常時給電モードの説明が表示されたら起動完了となります。**  
起動後、エアコンをONにしてください。システム保護で車内温度を一定に保つため、必要な操作となります。

4

**フタを開けて、電気製品の電源プラグを差し込んでください。**  
アース線のある電気製品を使用する時は、ラゲージルーム内のコンセントを使用し、アース線をアース端子に接続してください。※ラゲージルーム内のコンセントがない車種もあります。

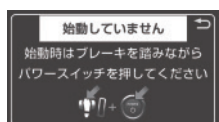
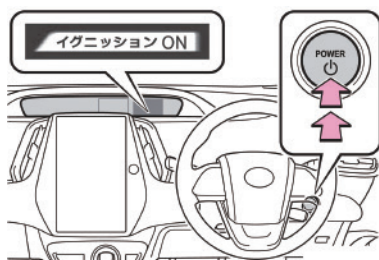
**安全にお使いいただくために、ご注意いただきたい内容があります。**

お守りいただかないと思わぬ事故の原因となり、重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。詳しくは取扱書をご覧ください。詳しくは取扱書をご覧ください。

■システム作動中はエンジンが作動するおそれがあるので、車庫内等、換気の悪い場所を避け、換気の良い場所に駐車してください。 ■合計1500W以下の電気製品をご使用ください。ただし、1500W以下の電気製品でも正常に作動しない場合があります。詳しくは販売店におたずねください。製品によっては正常に作動しない場合やご注意いただきたい項目があります。ご使用前に必ず製品の取扱書をご覧ください。 ■一部地域では、駐車または停車中にエンジンを稼働させた場合、条例に触れるおそれがありますので十分にご注意ください。 ■電子キーでドアの施錠・解錠をすることはできません。メカニカルキーのみでドアの施錠・解錠ができます。 ■電気製品には使用可能電源の周波数が50Hzか60Hzのどちらかに制限されているものがありますので、電気製品の取扱説明書を確認してください。 ■電子レンジ、蛍光灯(インバーター式除く)、水銀灯、電気時計、洗濯機、ステレオ等で周波数が異なると使用できないものがあります。特に電子レンジは電源周波数が設定と異なると発熱することがあり、注意が必要です。 ■工場出荷時はアクセサリコンセントの周波数は60Hzに設定(プリウスの場合)されていますが、50Hzに変更可能です。変更は販売店に相談して実施ください。

# ヴィークルパワーコネクタの使い方

1



始動操作に関する  
アドバイス画面

ブレーキを踏まずに、  
パワースイッチを2回押して、  
イグニッションON状態にします。

始動操作に関するアドバイス画面が表示された時は、  
ステアリングに装着されているメーター操作スイッチの  
◀を押して前の画面に戻します。

2



ヴィークルパワーコネクタの防水カバーを開ける

コンセント差込口に  
電気製品のコンセントを差し込む

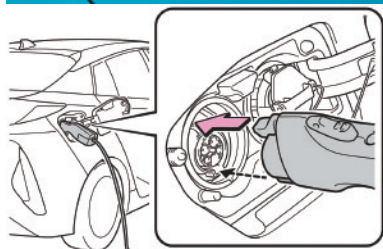
ヴィークルパワーコネクタの  
コンセント差込口に電気製品の  
コンセントを差し込んでください。

ヴィークルパワーコネクタの防水カバーを開け、  
電気製品のコンセントを差し込む。

3



普通充電インレット

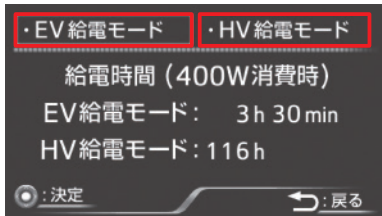


充電リッドを開け、  
普通充電インレットに  
ヴィークルパワーコネクタを  
差し込みます。

充電リッドを開け、左側の普通充電インレットに、  
ヴィークルパワーコネクタを差し込む。



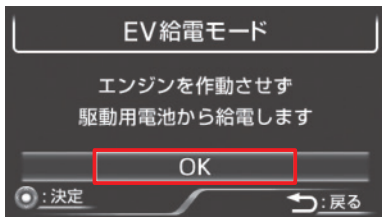
4



ステアリング右側のスイッチでディスプレイを操作し、「EV給電モード」「HV給電モード」のいずれかを選択します。

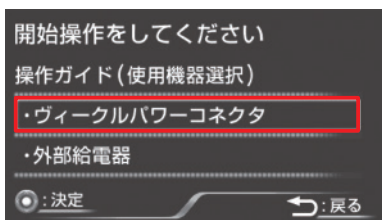
◀・▶ を押して、ご希望の外部電源供給モードを選択し、決定ボタンを押す。

5



給電モードを決定し、「ヴィークルパワーコネクタ」を選択します。

ディスプレイに確認画面がでたら「OK」で決定ボタンを押し、決定ボタンを押したらディスプレイ上の設定が完了。



6



ヴィークルパワーコネクタの電源スイッチを2回連続で押すと、充電インジケータが点滅からしばらくしたのち、点灯に変わります。点灯に変わった後、電気製品の電源をONにしてください。

電源スイッチを2回連続で押し、充電インジケータが約8秒間点滅後、点灯。

## 2種類のモードについて

### ■ EV給電モード

駆動用電池に蓄えられている電力のみを使用してAC外部電源供給を行います。電源供給可能な駆動用電池の残量を下まわると、給電を終了します。

### ■ HV給電モード ※必ず屋外 (換気の良い場所) でご使用ください。

AC外部電源供給中に電源供給可能な駆動用電池の残量を下まわると、自動的にガソリンエンジンが作動して給電を継続します。燃料残量警告灯が点滅すると、給電を終了します。

## 安全にお使いいただくために、ご注意いただきたい内容があります。

お守りいただかないと思わぬ事故の原因となり、重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。詳しくは取扱書をご覧ください。詳しくは取扱書をご覧ください。

■合計1500W以下の電気製品をご使用ください。ただし、1500W以下の電気製品でも正常に作動しない場合があります。詳しくは販売店におたずねください。製品によっては正常に作動しない場合やご注意いただきたい項目があります。ご使用前に必ず製品の取扱書をご覧ください。 ■一部地域では、駐車または停車中にエンジンを稼働させた場合、条例に触れるおそれがありますので十分にご注意ください。 ■電気製品には使用可能電源の周波数が50Hzか60Hzのどちらかに制限されているものがありますので、電気製品の取扱説明書を確認してください。 ■電子レンジ、蛍光灯(インバーター式除く)、水銀灯、電気時計、洗濯機、ステレオ等で周波数が異なると使用できないものがあります。特に電子レンジは電源周波数が設定と異なると発熱することがあり、注意が必要です。 ■工場出荷時はアクセサリコンセントの周波数は60Hzに設定(プリウスPHVの場合)されていますが、50Hzに変更可能です。変更は販売店に相談して実施ください。